

## パリDAC通信(DACアウトリーチ戦略～OECDの拡大と関与強化)

「DACアウトリーチ戦略」の改訂がDACハイレベル会合で合意されました。

### ■OECD全体の課題でもあるアウトリーチ(OECDの拡大と関与強化)

OECDは、新興経済国がOECDのルールに沿って行動することを確保するため、以下の国を対象に「拡大と関与強化」を実施しています。

□拡大:ロシア、チリ、イスラエル、スロベニア、エストニアの5カ国との間で、加盟交渉準備のための協議を開始。

□関与強化:ブラジル、インド、中国、南アフリカ、インドネシアとの間で、将来の加盟の可能性も視野に入れ、関与強化プログラムを通じ協力を強化。また、東南アジアを優先的に扱い、戦略的利益の高い国・地域との関係強化策を策定。

### ■「拡大と関与強化」を踏まえた「DACアウトリーチ戦略」

「DACアウトリーチ戦略」も、「拡大と関与強化」を踏まえ、①相互学習、②相互理解と認識の共有、③政策実践成果品の向上、の3つを上位目標に、対象国を以下の通りに分類してアウトリーチを実施することとしています。

対象国		アウトリーチ活動
DAC未加盟OECD諸国		DACの全ての活動へのさらなる関与
OECD未加盟	「拡大」対象国 + 「関与強化」対象国	ロシア、ブラジル、中国、インド、南アフリカを優先国としてDACハイレベル会合及びシニアレベル会合へ招待、希望ベースによる主要な活動への参加による政策対話。一方でインドネシアはドナーとしての規模から多くの関与は期待されていない。
	アラブ諸国	アラブ諸国の均一性を考慮した政策対話
	EU諸国	DAC政策関連成果の普及や情報の交換、個別の助言
	その他の国	援助活動の観測、情報ニーズや関心の特定

### ■様々なツールを活用する「DACアウトリーチ戦略」

「DACアウトリーチ戦略」では、政策対話の実施の他に、援助額報告のための統計整備への協力、援助審査会合参加によるDACメンバーの援助体制の学習、DACによる簡易援助審査の実施、開発のためのグローバルフォーラムへの招待、OECDのイントラネットへのアクセスによる情報共有、等のツールを各対象国にあわせて活用することとしています。

### ■「DACアウトリーチ戦略」がDACに求める課題

「DACアウトリーチ戦略」を実施していく上では、対象国にとってDACの活動が有益で魅力的なものであることが不可欠です。DACはこの期待に応えていくよう、DACの活動をより向上させていく必要があるといえます。